

## 第26回 教育研究評議会議事要録

- 日 時 平成18年4月19日（水）午後1時00分～午後1時25分
- 場 所 第一会議室
- 出席者 久米学長、清水理事、井上理事、岡本理事、奥村文学部長、池原理学部長、  
上野生活環境学部長、矢野人間文化研究科長、坂本附属図書館長、水上附属学校部長、  
出田、森岡、塚原、野口、磯田、小城、今井、岩渕各評議員
- 列席者 岡監事、上野監事、室溪総務・企画課長、上岡人事課長、河井国際課長、  
吉田研究協力課長、松田財務課長、荒生施設企画課長、上古殿学務課長、  
岸田学生生活課長、新宮入試課長、新井図書課長

議事に先立ち、

- (1) 学長から4月1日付けで新たに就任した池原理学部長、坂本図書館長、塚原評議員、  
野口評議員、岩渕評議員の紹介があり、事務局長から4月1日付けで人事異動のあった事務  
系列席者の紹介があった。
- (2) 前回記録を確認。

### I 審議事項

学長から、審議事項として予定している事項がないことの説明があり、評議員からも審議願  
いたい事項のないことが確認された。

### II 報告事項

#### 1. 国公立大学を通じた大学教育改革支援プログラム（GP）について

学長から平成18年度の公募に対し、本学から次のとおり申請したことの報告があった。

##### (1) 現代的教育ニーズ取組支援プログラム

- ・「生活観光を通じた奈良ブランドの再生－社会連携のための全学的教育プログラム－」
- ・「可視化コンテンツクリエイタ養成プログラム」

##### (2) 魅力ある大学院教育イニシアティブ

- ・「共生自然科学を先導する理系女性研究者養成」
- ・「先端科学技術の芽を生み出す女性研究者養成－21世紀先端科学技術と基礎科学の  
インターフェースをめざして－」

また、現在公募中の「特色ある大学教育支援プログラム」の申請については、「理数系に  
おける能動参加型女性人材育成－理学教育におけるアクティブ連鎖－」のテーマでの申請に  
向け、準備していることの報告があった。

2. 理学部及び大学院人間文化研究科（博士前期課程）改組計画について

学長から文部科学省へ事前伺を行った結果について、次のとおり報告があった。

- (1) 平成19年度理学部物理科学科及び化学科の入学定員改訂並びに大学院人間文化研究科（博士前期課程）物理科学専攻及び化学専攻の入学定員改訂については、大学限りで実施して差し支えないこと。
- (2) 平成19年度に大学院人間文化研究科（博士前期課程）生活環境学専攻、人間環境学専攻を廃止し、食物栄養学専攻、生活健康・衣環境学専攻、住環境学専攻及び生活文化学専攻を設置する計画については、平成18年3月28日開催の大学設置・学校法人審議会大学設置分科会運営委員会に事前伺を行い、特に意見なく報告により設置することが了承され、今後平成18年12月末までに設置の届出を行うことにより、改組手続きが完了すること。

3. 平成18年度科学技術振興調整費について

学長から本学が提案している課題「生涯にわたる女性研究者共助システムの構築」について、現時点での経過報告があった。

4. 平成17年度に係る業務の実績報告について

学長から平成17年度に係る実績報告書の作成について、依頼があった。

5. その他

(1) 部局における化学物質等の管理に関する委員会の設置について

統括安全管理者である岡本理事から、国立大学法人奈良女子大学における化学物資等の管理に関する規程に基づく部局等委員会の設置について依頼があった。また、安全管理専門部会長である塚原評議員から、当該規程に定める部局について、薬品管理支援システムの運用上の実態に則し、大学院人間文化研究科、保健管理センター及び共生科学研究センターを関連学部には包括して取り扱うこととした旨補足説明があった。

(2) 記念館一般公開について

記念館館長である附属図書館長から、追加資料により4月29日（土）～5月7日（日）に記念館一般公開を行うこと及び特別展示の内容について案内があった。

(3) 人間文化研究科長から、優秀な女性研究者の育成を図るために大学院人間文化研究科（博士後期課程）修了者のキャリア形成の方策について、検討する必要がある旨の発言があった。

(4) 評議員から、学校教育法の一部改正に伴う教員組織の見直しについて、早期に検討に着手願いたい旨依頼があった。

次回教育研究評議会を5月17日（水）午後1時から開催することとして散会

以上